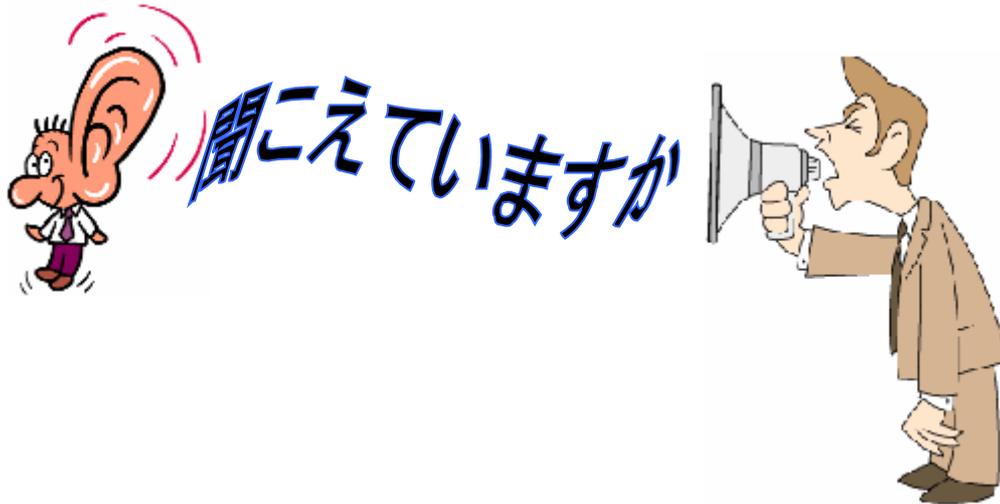


補聴器を使いこなしていただくための 3週間プログラム



_____さまに末永く、快適に補聴器をお使いいただけますよう

私ども関西きこえ補聴器のスタッフが今後、

お客様のご相談をお受け致します。

さて、補聴器をお使いになるにあたり、以下の3項目を御理解下さい。

**補聴器の装用は、途中であきらめず、続けてお使いいただき
プログラムに従って、根気よく...
上手な会話のための『コツ』をつかんで、**

音の世界とはどのようなものであるかを知ってください。

関西きこえ補聴器

家庭でのオリエンテーション

【ご本人様へ】

やがて聴力が低下し始める人もいます。初めはそれに気づきませんが、聴力が低下するにつれて、聞きたい音だけを選択して聞くことが難しくなってきます。本人が聴力の低下に気づくのは会話の理解が困難になったときです。最終的に聴力低下を回復しようと考えをめぐらすことになりますが、補聴器が解決方法の1つにあげられます。

まず、補聴器を使って聞くことになれることから始めます。その際、注意すべきことは、効果を早急に期待しその良否を簡単に判断しないことです。もし、あなたの知り合いで補聴器に満足しなかった経験を持つ方がおられても、その方のことばに左右されないでください。あなた自身の聴力の回復とは直接関係のないことから。

【ご家族の方へ】

補聴器を使用しているときは顔を見て話をしてください。そして話をする前に注意を引いてください。

普通に、自然に、ゆっくりと、そしてハッキリと話してください。大声で話すことよりもむしろゆっくり話すことのほうが重要です。

相手が理解できないとわかったときは、単に同じことばを繰り返すのではなくことばや言いまわしを替えてみてください。

リハビリテーション開始

補聴器を正しく取りつけ、調整する練習をしてください。

最初は周囲の音が簡単に聞き分けられ、静かで日頃から良く慣れている場所で補聴器を使用してください。快く協力してくれる方を相手に、1対1で聞く練習をしてください。

早急に過大な期待はしないでください。過大な期待は逆に失望につながります。

自分の声に慣れるために、音量を低めに設定してください。補聴器を通して聞こえるあなたの声は以前と違って聞こえることでしょう。

最初のうちは話を全部聞き取れなくても快適な音量で使用してください。

小声や距離を隔てての会話、騒がしい場所での話し声がすぐに理解できなくても慌てる必要はありません。

個々の音や声に神経を集中させる能力を再び養わなければなりません。

周囲の雑音の中から聞くべき音を選んでそれを聞き取る練習をします。

テレビやラジオを聞きことは難しいかもしれません。音響効果でしばしば会話が消されてしまいます。

< 第 1 日 目 >

装用時間:午前1時間 / 午後1時間

装用環境:ご家庭の静かなところで

本日の課題 - その 周囲の雑音と聞きたい音を聞き分ける

日常よく耳にする音を聞きます。補聴器を装用しますと、しばらくよく聞えていなかった周囲の音が聞えてきます。

日常的によく耳にし、会話には不必要な音(雑音)を注意してお聞きください。

この課題によって、会話をする場合に不必要な騒音を無視できるようにします。

練習：次の6つの音が聞こえるでしょうか。チェックマークを付けて下さい。

また、他に聞こえた音も書き出してください。

電話の呼び出し音

エアコンの作動音

ドアの閉まる音

冷蔵庫の作動音

水道水の音

紙類のガサガサ音

その他

本日の課題 - その よりよい聞こえのため、周囲の理解を得る

ご家族や親しい方と、ご自身の「聞こえ」について話し合ってください。

練習：以下の項目について、ご家族か親しい方と話し合いの場を持ってください。

1. 補聴器を装用すればすぐに聞こえが良くなるという訳ではなく、補聴器装用は聴力を改善するための第一歩であることをご理解下さい。このプログラムで、補聴器を最大限に活用していただく方法を学んでいただきます。
2. ご家族か親しい方に、「聞こえ」のパートナーになっていただいで下さい。このプログラムにおいて、ご協力いただくこととなります。
3. では早速、そのパートナーに補聴器を装用した感想などをお話下さい。

日記

補聴器装用1日目の感想と、何か質問事項があればお書き下さい。

< 第 2 日 目 >

装用時間:午前2時間 / 午後2時間

装用環境:静かなところで

本日の課題 - その 自分の声に慣れる

- ・補聴器装用時は、ご自分の声より大きく聞こえることにすぐお気づきになるはずですが、これは、ご自分の声が補聴器のマイクに近いところにあるために起こる現象です。
- ・装用前には、ご自分の声をよく聞き取るためにおそらく無意識に大きな声を出していらっしまったでしょう。 今後はより自然な音量で話していただけます。
- ・また、声の質も違うように思われるでしょう。これにはすぐ慣れていただけますが、最も大切なのは、他の方の声がどのように聞こえるかです。本日の練習ではご自分の声の大きさと質を理解して下さい。

練習：新聞や雑誌、本などを声に出して読んでください。あるいはなにか唱えていただいても構いません。

補聴器を装用し、午前・午後一回ずつ各15分間行ないます。

本日の課題 - その 本日、補聴器装用中に聞いた音を書き出してください。

1. _____
2. _____
3. _____

日記 補聴器装用2日目の感想と、何か質問事項があればお書き下さい。

--

< 第 3 日 目 >

装用時間:午前2時間 / 午後2時間

装用環境:静かなところで

本日の課題 - その 積極的に聞き返す

話し手に、理解できなかった内容について聞き返します。

- ・聞き手の責任として、話しの内容で理解出来なかった部分があったことを、話し手に知らせなければなりません。
- ・丁寧な言葉で、話の内容が理解できなかったことを伝え、コミュニケーションを続ける技術を身につけて下さい。

ほとんどの方は面倒がらず、また喜んでそれに応じて下さるはずです。

練習: 内容が理解できないときは、その相手に近寄り

「～さん、すみませんが今おっしゃったことが分かりません。」

と、その内容を繰り返していただきます。

もしその後も理解出来ない場合には、以下のように具体的な要求をしてみてください。

- ・「こちらに顔を向けて話してくださいませんか。」
- ・「もう少し近くで話していただけませんか。」
- ・「もう少しゆっくり、はっきりと話していただけませんか。」

本日の課題 - その よりよい聞こえのため、周囲の理解を得る

パートナーと、コミュニケーション向上のために本日の課題について話し合ってください。

本日の課題 - その 自分自身の声に慣れる

15分間、何かを声に出して読んで下さい。だんだんご自分の声に慣れてこられたでしょう。

日記 コミュニケーションはうまくいきましたか。また、本日の課題にどのような感想をお持ちですか。

< 第 4 日 目 >

装用時間:午前3時間 / 午後3時間

装用環境:静かなところで

本日の課題 - その 1 よりよいコミュニケーションのために

よい話し手となるための、コミュニケーション技術を身につけます。

よいコミュニケーションのための技術といっても、難しいことはありません。話し手に「どうすればうまくコミュニケーションがとれるのか」を示してさしあげれば、それに従っていただけるはずです。何より大切なのは、お互いによりよいコミュニケーション技術をもって会話することです。そこに、もっと楽しくリラックスした会話が実現します。

さて、今日から以下の「技術」を使って会話をしてみてください。

- 1) 相手の顔を見て話します。
- 2) 会話をはじめる時は、まず相手の名前を呼び注意を引きます。
- 3) なるべく明るい場所で話します。
- 4) 相手との距離は1m以内にします。周囲に雑音が多い時には、なるべく接近するようにします。

練習:補聴器を装用し、少なくとも30分間、パートナーと顔を見ながら1~2m以内の距離で会話をして下さい。

静かな所で、相手の口に注目してお好きな話しをして下さい。

本日の課題 - その 2 自分自身の声に慣れる

15分間、何かを声に出して読んで下さい。だんだんご自分の声に慣れてこられたでしょう。

日記 課題の感想をお書き下さい。

< 第 5 日 目 >

装用時間:6~8時間

装用環境:静かなところで

本日の課題 - その 話の概念に注目する

- ・テレビをご覧いただきますが、この時、番組中の人物の1~2人のみに注目して下さい。
- ・効果的なコミュニケーションの方法は、単語を一語一語聞くのではなく、話の前後関係や概念や、ポイントとなる言葉に耳を集中させることです。誰でもみな、雑音の多い所などでは主要な部分だけに集中する必要があります。
- ・どんなときにも、会話の話題が何であるかを把握しておくことが大切です。

練習: 補聴器を装用して番組中の1~2人の人物に注目し、30分~1時間テレビをご覧下さい。
ニュース番組やトークショーがよいでしょう。
(ドラマなどは効果音や背景の音で聞き取りが難しいと思われます。)

日記 番組中の話の内容はどのくらい理解できたでしょうか。

本日の課題 - その 自分自身の声に慣れる

補聴器を装用し、25分間、何かを声を出して読んでください。

日記 コミュニケーションは改善されてきているでしょうか。
また、質問事項があれば書きこんでください。

< 第 6 日 目 >

装用時間:6~8時間

装用環境:静かなところで

本日の課題 - その 目からの情報をコミュニケーションに活用する

- ・聴覚と同時に、視覚からの情報を利用します。話ながら相手の唇や表情、身振り手振りを見ます。
- ・目からの情報は、話を理解する上で大変重要です。理解を深めるためには、相手の唇や表情、身振り・手振りに着目します。(大抵は無意識に行っていることです。)
- ・相手が発話する時の唇の動きを見てください。50音上での「段」が同じものは、どれもよく似ています。
- ・鏡で、あるいはパートナーに発話してもらい、よく見て下さい。それと同時に、声の音調にも注意してください。

練習：聴覚と視覚の両方からの情報に注目しパートナー以外の方と静かな場所で会話をして下さい。

練習：必要なときには、相手に聞き返す習慣をつけるようにして下さい。例えば

「～さん、今、なんておっしゃったんですか。～についてのことですか。」というように。

練習：よく読まれる本や雑誌を、15分間、パートナーに声に出して読んでいただきます。

日記 コミュニケーションは、視覚からの情報によって、どのようにスムーズになったでしょうか。

本日の課題 - その 自分自身の声に慣れる

補聴器を装用し、30分間、何か声を出して読んでください。

< 第 7 日 目 >

装用時間: 8 ~ 10時間

装用環境: 比較的静かなところで

本日の課題 - その 雑音の中でのコミュニケーションの向上

ほんの少し雑音のあるところで会話をします。

会話する上での理想的な環境は、カーペットが敷かれ、カーテンで覆われた静かな小部屋です。

ご家庭ではそういう環境をつくることができますが、一步外へ出ますと常に状況は変化し、スムーズなコミュニケーションに適した場面は少なくなります。

雑音のあるところで会話をする場合、以下の点に留意して下さい：

- ・誰に話かける時には、まず相手の名前を呼び注意をひきます。そして、他の方々には「私に話しかけられる時は、まず名前を呼んで下さい。」と、お願いしておきます。
- ・お互いに顔を見て話し、視覚からの情報にも注目します。
- ・口を大げさに動かさないようにして、はっきりと話します。
- ・自然な音量で話します。
- ・単語を一語一語聞くのではなく、話しの前後関係や概念に耳を集中させます。
- ・話の内容を正しく理解できたかどうか、質問をしてみてください。
- ・1 ~ 2 m以内の距離で話して下さい。
- ・出来る限り雑音を減らすか、もしくは音源から遠ざかって話します。

練習：パートナーと会話をします。この時、テレビかラジオをつけてみます。ついているときとそうでないときと、会話の状況の違いを体験して下さい。

練習：パートナーと会話をします。この時、距離をどんどん広げながら顔を見合わせて話します。次は、逆に話をしながら近寄り、違いを体験して下さい。

練習：パートナーと会話をしていただきますが、まずは顔を見ずに話します。次に顔を見合わせて話し、違いを体験して下さい。

周囲の状況や会話に対する姿勢が良くなると、コミュニケーションはどのようなムーズになったでしょうか。

< 第 8 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

補聴器装用開始から、まずは1週間を経過いたしました。本日は関西きこえ補聴器のスタッフがお客様のご相談をお受けする日です。この冊子をお持ちになり、**関西きこえ補聴器へご来店下さい**。パートナーの方のご都合がつかようでしたら、**ご一緒にお越し下さい**。

練習：第1日目～7日目を振り返っていただき、関西きこえ補聴器にてご質問やご相談をされたい事項があればお書き下さい。

練習：補聴器を1日中装用し、雑音を認識しながら、聞きたい音声のみに神経を集中して下さい。

日記

関西きこえ補聴器にてお聞きになった内容を、必要があれば書きとめておいてください。

--

< 第 9 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

本日の課題 - その 補聴器装用での「聞こえ」を認識する

2～3人で会話をします。

- ・聞き慣れている声が、補聴器を装用すると少し違って聞こえることにはすでにお気づきでしょう。2～3人で会話をする場合、それぞれの声を認識する必要があります。
- ・ここでは「集中力」と「コミュニケーションの技術」が大変重要となります。
- ・単語を一語一語聞くのではなく、話しの前後関係や概念に耳を集中させ、理解できなければ繰り返していただくよう促すことが必要です。
- ・またこのような会話では、補聴器の音量を下げるにより快適性があがることにお気づきになるでしょう。

練習：補聴器を装用されていることをご存知の2～3人の方と会話をします。

同時に小さめの音量でテレビかラジオをつけて下さい。

ここで7日目までに習得された技術が生かされます。

練習：何人かの人物が出演するテレビ番組を、出来ればパートナーと一緒にご覧下さい。

音量は、パートナーが普通と思われるレベルにして下さい。

話の前後関係や概念に耳を集中させます（聞き取れない言葉があるのは自然なことです。）

日記

2～3人の方と会話をしたり、テレビ番組を見たりしている時のコミュニケーションについて、どのような感想をお持ちですか。

< 第 1 0 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

本日の課題 - その 視覚からの情報のない「聞こえ」

目からの情報に頼らずに聞き取ります。

テレビやラジオは重要な情報媒体ですが、聴力が弱い場合には、その聞き取りは容易ではありません。というのも、これらは人工的に生み出された音の信号であり、補聴器で増幅されると変化してしまうからです。

補聴器を装用して、テレビやラジオを継続してお楽しみいただけるよう、以下の項目をご理解下さい。

- ・ テレビやラジオから1～2m離れ、正面に座ります。
- ・ もし、聴力に障害のない方と一緒の場合、その方が両耳で均一に心地よく聞こえる音量レベルにセットして下さい。
- ・ 1語1語に集中するのではなく、概略をつかむように心がけてください。
- ・ 女性より男性の声のほうが聞き取りやすいことをご理解下さい。

練習：静かな部屋でテレビ・ラジオを30分間お聞き下さい（クラシックやイージーリスニング等のソフトな音楽番組が大変明瞭にお聞きいただけるでしょう）。

この時、会話はしないで下さい。

練習：親しい方と電話で話して下さい。

この時、よく聞こえるように受話器の位置を変えてみて下さい。

また、補聴器の音量を必要に合わせて上げて下さい。

日記 補聴器を使用しながらテレビやラジオをお聞きになって、どのような良い点があったでしょうか。

< 第 1 1 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:おおよそ静かなところで

本日の課題 - その 雑音と聞きたい音とを聞き分ける

練習 : 風のあまりない時間帯や場所を選び、屋外で30分間、補聴器を装用してください。

日記 補聴器を装用中に聞いた音を書き出してください。

1. _____
2. _____
3. _____

本日の課題 - その 自分自身の声を聞く

練習 : 新聞を15分~25分間、声に出して読んでください。

日記 このプログラムの2日目に、初めて補聴器を使用してお聞きになったときと比較して、どの程度ご自分の声に慣れられたでしょうか。

本日の課題 - その より良い聞こえのために、周囲の理解を得る

練習 : パートナーと、これまでのプログラムによってどのようにコミュニケーションが向上されたか話し合ってみてください。

日記 お客様ご自身は会話能力についてどのくらい満足しておられるでしょうか。

< 第 1 2 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

本日の課題 - その やや雑音のある中での聞き取り

3～5人で会話をします。

不必要な雑音と重要な会話を聞き分ける能力をアップするためには、少し雑音のある中で聞き取る技術や会話する技術を養う必要があります。また同時に、忍耐力や集中力も必要となるでしょう。

練習：ご家庭や職場の少し雑音のある中で3～5人で会話をします。

雑音の大きさについてはご判断にお任せしますが、会話を聞き取るのが困難と思われるような騒音は避けて下さい。

日記 会話がどの程度理解できたでしょうか。

本日の課題 - その やや困難な状況下での聞き取り

ご家族またはお知り合いの方と、15分間、電話で会話をして下さい。

日記 電話での会話はどの程度うまくできたでしょうか。

< 第 1 3 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

本日の課題 - その 雑音の中での聞き取り

- ・さまざまな環境下で会話をします。
- ・周囲の騒音が大きければ大きい程、話し手にさらに注目する必要性が出てきます。
- ・もちろん補聴器の装用時間が長くなる程、雑音と会話を聞き分ける能力は向上します。
- ・これからは、雑音の中で複数の方と会話をする練習をします。
- ・今日はプログラム1日目～12日目の復習を簡単にさせていただき、習得された技術を常に生かすように心がけて下さい。

お勤めされておられる方のための練習：

職場の雑音の中で複数の方と会話をされる場合においても、補聴器を装用した状態に慣れてこられているでしょう。今日は、聞きなれた音声を意識して聞いていただきます。職場の人の顔と声を一致させながら会話をして下さい。

この時、これまでに習得された内容、すなわち

- ・相手の顔を見ながら話す
- ・相手と1～2mの距離をおく
- ・ゆっくり、かつ自然に話す
- ・理解できない時には、繰り返していただくよう相手に促す

などの技術を使うように心がけて下さい。

お勤めされておられない方のための練習：

静かなレストランなどの公共の場へお知り合いの方と出かけ、周囲の知らない方の声を聞いて下さい。そしてその場で少なくとも30分間会話を続けます。

次に、騒音のある環境下で同様に30分間会話をして下さい。

日記 本日の感想を書いてください。

< 第 1 4 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:雑音のあるところで

本日の課題 さまざまな状況下での聞き取り

おおよそ静かな場所で食事をしていただきます。

聴覚に障害がある場合、食事をしながらの聞き取りは困難です。食器の音や周囲の別の会話に妨害され、その環境は聞き取りに適しているとは言えません。

そこで、食事中の会話では、以下の技術を活用してみてください。

- ・話し相手の前に座る
- ・必要であれば、「聞こえのパートナー」としてどなたかに横に座っていただく
- ・照明などがまぶしくない場所に座る
- ・補聴器の音量を快適なレベルに合わせる
- ・できるだけ妨害となる雑音をなくす
- ・あまりにも騒音が大きい場合は、場所を変える
- ・壁や窓などの固い面の近くを避けて座る

練習：比較的静かで、カーペット・カーテン・よい照明のあるレストランを選び2～4人で食事をします。会話のとき、近くで話す小さい声のほうが遠くから届いてくる大きい音より聞こえにくいはずです。一緒に食事をしている人たちに集中して下さい。

大抵のレストランは騒音がひどく、普段は聞き取れるようなことでも聞き逃してしまうことが多いでしょう。普通の聴力を持った人にとってもこのような場所での聞き取りは難しいものなので、落胆されることはありません。

日記 食事中の会話はいかがでしたでしょうか。

< 第 1 5 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:少し雑音のあるところで

本日の課題 - その さまざまな状況下での聞き取り

少し雑音のあるところで会話をします。

補聴器を装用してからまだ行かれたことのない所で、普段よく出かけられ、かつ少し雑音のある場所へ行って見て下さい。

今回は、騒音のひどい場所での補聴器装用は避けて下さい。

練習: 補聴器を装用し、パートナーかお知り合いの方と一緒に新しい環境へ出かけて見て下さい。
デパートやショッピングモール・スーパーマーケット・レストランなど、お好きな場所を選んで下さい。

日記 会話はどの程度うまくできたでしょうか。

また、雑音と聞きたい音声とをどの程度聞き分けることができたでしょうか。

本日の課題 - その よりよい聞こえのため、周囲の理解を得る

練習: 補聴器装用、またはこのプログラムによって改善された点について、お知り合いの方とお話してください。また、聴力に障害があると思われるお知り合いの方とも、良かった点について話してみてください。

日記

< 第 1 6 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:雑音のあるところで

本日の課題 さらに聞き取りにくい状況下で

人が集まり、騒音のあるところでコミュニケーションをはかります。

スケジュールに合わせた補聴器装用をしていただいた結果、1日中補聴器を装用した状態で1週間経ちましたが、まだまだ慣れない場合もあるでしょう。「慣れ」には個人差がありますので、落胆される必要はありません。ご自身で目標をお持ちになり、進捗度を確認して行って下さい。「慣れ」や「聞こえの量」に影響を及ぼすのは、聴力の程度や、聞きたい音声だけを聞き分ける能力の程度であり、補聴器のせいではないことをここでご理解下さい。

これまでに習得されたコミュニケーションの技術を継続的に取り入れ、毎日欠かさず補聴器を装用して下さい。

練習 : 話し手が1人だけの会議や講義などに出席します。

心地よい音量になるよう、補聴器の音量調節が必要な場合があるでしょう。

1. 聞き取りやすい場所に座ります。部屋の前の方で、話し手の顔が見える中央近くがよいでしょう。
2. 話の前に、その話題の内容をできるだけ知っておくようにします。また、内容について書かれたものがあれば、集めておきます。
3. パートナーにも助けていただいて下さい。

日記 話の内容をどの程度聞き取れ、理解されましたでしょうか。どのような点が難しかったか、次回、関西きこえ補聴器でご相談いただけるよう以下に書きとめておいて下さい。

< 第 1 7 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:雑音のあるところで・大勢の中で

本日の課題 さらに聞き取りにくい状況下で

ご自分の練習を続けると同時に、周囲の人によりよい会話の技術を教えてあげてください。

覚えておいていただきたいのは、普通の聴力であっても騒音下では聞き取りにくい、ということです。

練習 : 公共の場に参加します。最初ははっきりしない言葉もあることでしょう。

以下の点に気を付けながら、会話に参加して下さい。

- ・親しい方で、かつ特に話を聞きたい方の側に寄る。
- ・話し手の顔や動作を見る。
- ・1度に1人の話を聞くようにし、同時に何人もの話を聞かない。
- ・会話の内容が分からない場合のために、隣にいる方に助けていただくようお願いする。
- ・「すみませんが、聞き逃してしまいました」と話し手に積極的に伝え、どのようにすれば話がうまくできるかを相手に教える。

日記 以上の点に注意しながら会話に参加され、うまくコミュニケーションが計れたでしょうか。また、どのような点が難しかったですか。

< 第 1 8 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:さまざまな状況下で

本日の課題 さまざまな状況下での聞き取り

聴力の低下に伴い、**野外の音～鳥のさえずりや風の吹く音～**が聞こえなくなってきたことでしょう。
もう一度、今度は**補聴器**を装用した状態で**野外の音**を聞いていただきます。
最初は「初めての音」という感じがするかもしれません。

練習:お祭りやピクニック、野球の試合、ゴルフ、テニスなどの野外活動や行事に参加して下さい。
どんな音や話がおもしろいと感じられるかに着目します。また、パートナーや他の人と会話をして下さい。

日記 野外で聞いた音を5つ書き出してください。

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

日記 野外活動に参加されて、如何でしたでしょうか。

< 第 1 9 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:さまざまな状況下で

本日の課題 さらに聞き取りにくい状況下で

日常生活で「補聴器」を継続的に使用されればされるほど、コミュニケーションをうまくとるために必要なことは、「補聴器装用」とこのプログラムで身につけられた「技術」の両方であるということにお気づきになられるでしょう。

そのどちらが欠けても、コミュニケーションの能力、ひいては生活の質を向上することは不可能です。

練習 : 5人以上の人が集まり、騒音のあるところでの会議等に参加します。このとき

- ・ 1語1語にとらわれず、概念に着目する
- ・ 雑音と聞きたい音声とを聞き分ける
- ・ 1度に1人の話を聞くようにし、同時に何人もの話を聞かない
- ・ 事前に話の内容を調べておく

練習 : パートナーの方と、雑音のある所で、聞こえについての経験を話し合ってください。

日記 今日会議に参加され、どの程度聞き取れたでしょうか。

< 第 2 0 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:さまざまな状況下で

本日の課題 さらに聞き取りにくい状況下で

このプログラムで身につけられる「技術」は、どのような状況下における「聞こえ」にも対処できるよう考えられています。環境の変化にかかわらず、それらの技術は常に利用していただけます。さらに異なる技術を身につけられようように練習を続けて下さい。

練習：観劇や宗教的な集会など、体育館や大ホールで行われる活動に参加します。

通常、大きなホールなどでは音響効果が比較的小さいので、すべて聞き取れることはないと考えて下さい。

このような状況下では、以下の2点に留意して下さい。

- ・前方中央付近で話し手と向かい合わせになれる位置で、かつ話し手の声に集中して聞く。
- ・1語1語にとらわれず、概念に着目する。

日記 大きなホールでどの程度聞き取れたでしょうか。

--

< 第 2 1 日 目 >

装用時間:1日中

装用環境:さまざまな状況下で

おめでとうございます！

本日でこのプログラムはすべて終了します。

お客様の「聞こえ」が常により状態に保たれますよう、今後は関西きこえ補聴器のスタッフから定期的にご連絡させていただきます。また、このプログラムで習得された技術を今後も大いに利用していただきますようお願い致します。

練習：聴力に障害があると思われるお知り合いの方に、補聴器装用、または、このプログラムに対する満足度をお話ください。また、今日までお客様が経験された「聞こえ」に対するケアをその方にもご経験いただきたく存じますので、もし差し支えなければ私どもにご紹介ください。

練習：この3週間のコミュニケーションに対するご経験を振り返っていただき、パートナーの方と話しあってください。また、次回の関西きこえ補聴器でのご相談時にお話されたい内容がございましたら書き留めてください。

日記 3週間プログラムを終了してのご感想を何でもお書き下さい。

ご来店をお待ち申し上げております。